

27年度 広島県生涯学習研究実践交流会

安養寺サタデースクールふるさと体感プログラム

地域の自然と人で育つ子ら

自主運営のサタデースクール



日 時 平成28年 2月20日(土)

場 所 広島経済大学立町キャンパス

発表者 安養寺サタデースクール

田 中 靖 子

奥出雲町教育委員会社会教育課

高 橋 伊 尚

I 奥出雲町の紹介

安養寺サタデースクール

島根県仁多郡奥出雲町小馬木1259
国道432号線三成駅より15分
国の名勝「鬼の舌震」方面より、
国立公園内にある吾妻山へ向かう途中



- ・ 神話とロマンの里
- ・ おいしい仁多米と水
- ・ 伝説樹齢714年の
金言寺の大イチョウ

Ⅱ 子どもたちは 今

前頭葉が最も活性化する時
人間らしい豊かな心
逞しい身体の基盤

- ◎ テレビ・ゲーム等メディアに浸る生活
- ◎ 自然にふれる外遊びの減少
- ◎ 群れで関わり合う遊びの減少
- ◎ 手伝いによる知恵の伝承の減少
- ◎ 学びに対する興味・関心の低下

メディアづけから離れ 人間力を育む
異年齢集団 自然
人(指導者 応援団)

- コミュニケーション能力を高める
- 創造力や生きる知恵を育む
- 協同的で探究的な学びの場

安養寺
サタデースクールの
スタート

自然に囲まれた環境

裏山の森の広場 崖

本堂前の庭

小馬木川

本堂へ向かう車道⁴



Ⅲ 安養寺サタデースクールのねらい

豊かな自然と
人との関わりの中で、
ふるさとに育つ喜びを体感させる

サタデースクール3つの柱

1 遊び 2 学び 3 修養

活動の時間

毎週土曜日 午後1時30分～午後5時

IV 年間指導計画 子どもの願いと指導者のねらいをもとに

月・日	テーマ	学び	遊び・修養
5月 3日 10日 17日 24日 31日	裏山で 基地を 作って 遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・ことわざを覚えよう ・漢字ドリルをしよう ・たけのこを使って作品を作ろう ・たけのこをほって竹の育ち方や性質を学ぼう ・俳句を作ろう ・100マス計算をしよう ・算数プリントをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話 「かくれてやってもだめ」 ・遊べる楽しい基地づくり かずらのブランコ 木登り 木の馬 坂すべり ターザン ・紙芝居 ・絵本の読み聞かせ
10月 4日 11日 18日 25日	俳句会と お茶会を しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・金言寺で遊ぼう 大イチョウ、遊歩道、柿とり 秋の草花、秋と遊んで5・7・5 ・絵本を作ろう 世界に一つだけの 私が描いた絵本 ・抹茶のたて方、いただき方 ・100マス計算をしよう ・迷路を工夫して作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話 「自分のためにやろう」 ・親切 ・はきものそろえ ・落ち葉で遊ぼう ・すもう ・じんちとり

平成26年度計画から抜粋

V 1日の活動内容

i お話

(修養・思いやり、あいさつ、はきものそろえなど)

ii 今日の予定 めあての確認

iii 学び(算数・英語・国語・社会・その他)

iv みんなで遊ぼう

(人・自然と関わる遊びなど)

v かたづけ そうじ

vi ふりかえり

vii おやつ



VI 活動の実際

遊び～基地づくり～（自然とのかかわり）



ブランコを作ろう！

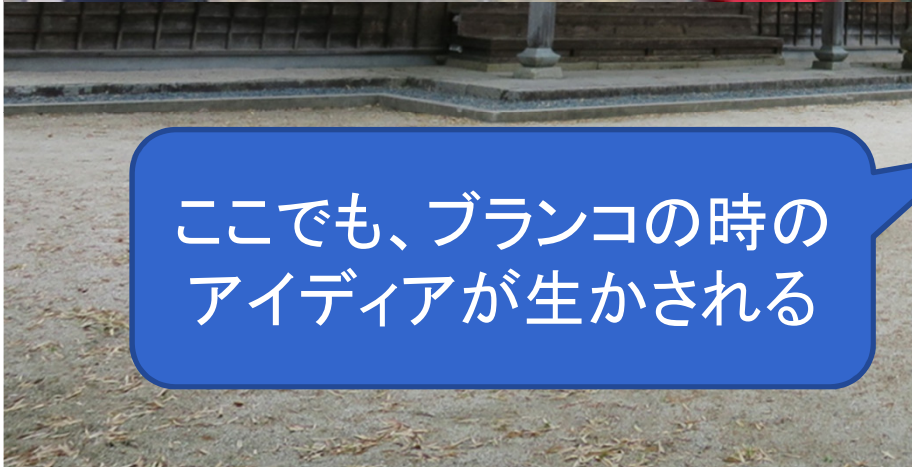
作り方を相談
どうやって木に
ロープをかけようか？

あっ！そうだ

みごとに成功
そして完成



野菜の網はりに発展

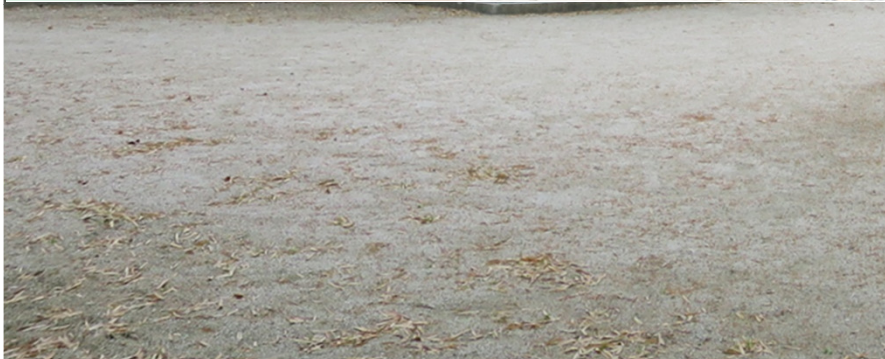


ここでも、ブランコの時の
アイデアが活かされる



VI 活動の実際

学び～もちつき～(人とのかかわり)



人との関わり

人は人によって育てられる

- 1 指導員
- 2 地域の支援
- 3 保護者の支援(父・母・祖父母)
- 4 ボランティア教員の支援
- 5 特別ゲスト
- 6 その他

VI 活動の実際

③ 心を育てる～修養～



読経



お話



ふるまい



ふり返り

VII まとめ

① 成果

- 知恵を出し協働で工夫する力
- 自分の命を守る知恵
- 自然と関わり合う楽しさ
- 異年齢集団の関わり合いの深まり
- たくさんの指導者の専門や特技にふれる

② 課題

- ボランティアの指導者の確保
- 地域の応援団の広がり
- 子どもたちの興味・関心を引き出すプログラムの開発

VII まとめ

③ 感想

子どもたち

- いろんな遊びが一番楽しい
- 俳句や絵本、自分作った木工の作品などおもしろかった
- たくさんの先生にいっぱい遊んだり教えてもらったりした

保護者

- ゲームやテレビから離れ、友だちと思いっきりいろいろなことを体験させてもらって感謝しています。

VII まとめ

③ 感想

指導者

- 多くの子どもたちとの出会いの喜び
- 指導者・支援者・特別ゲスト・地域の専門家などなど
応援団との温かいふれあいと学び
- 毎週という大変さもあるが続けることの大切さ

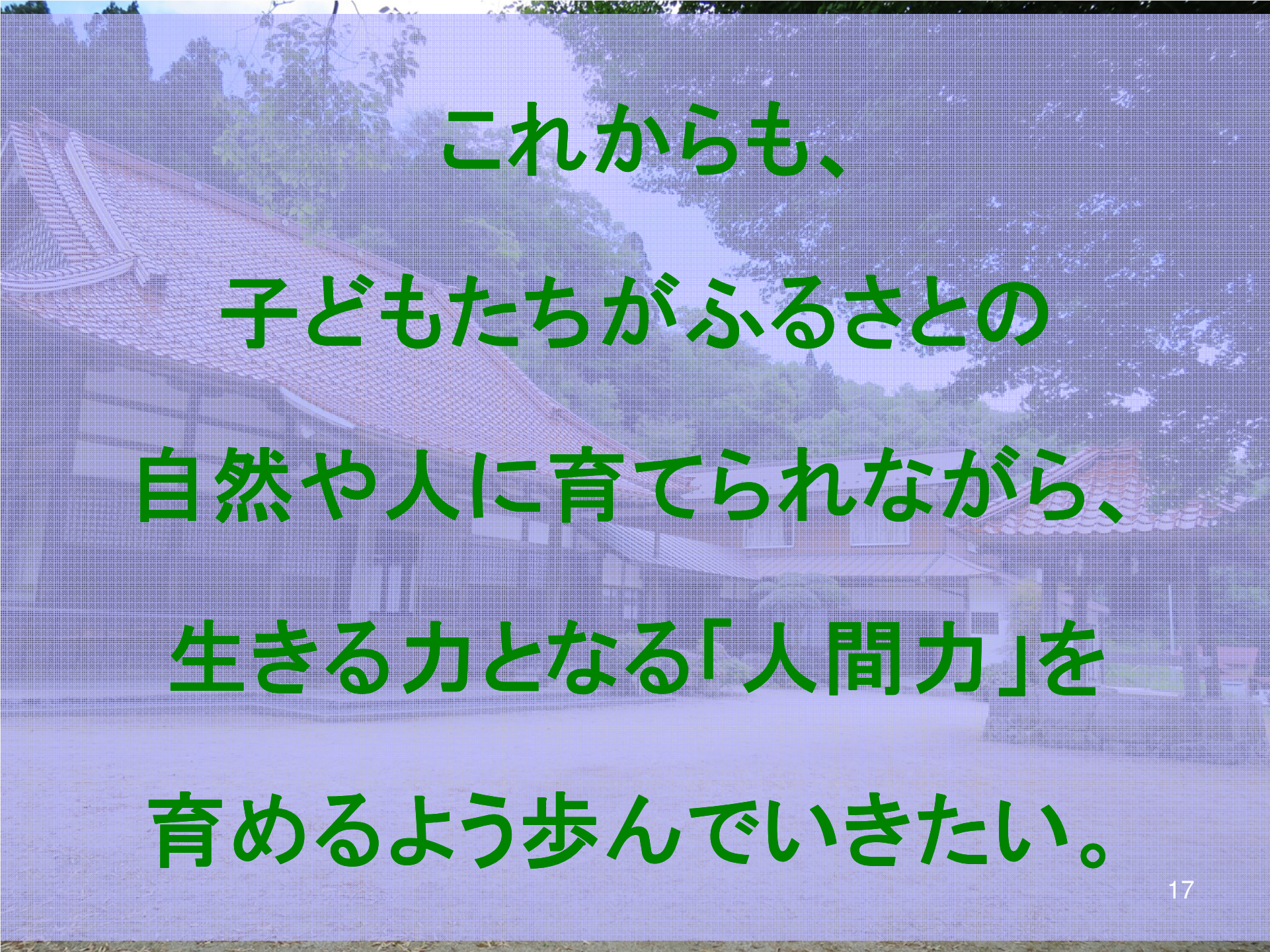
地域の方

- 土曜日になるとお寺から子どもたちの元気な声が聞こえて嬉しい、公民館での発表よかったね
- 本の好きな 心豊かな子どもになってくださいと本のプレゼントや手作りおやつのお贈り物
- 掃除は心の掃除ですね、と手ぬいの雑巾のお贈り物

VII まとめ

地域へ出かけて～節分～(人とのかわり)





これからも、
子どもたちがふるさとの
自然や人に育てられながら、
生きる力となる「人間力」を
育めるよう歩んでいきたい。

ご清聴ありがとうございました



馬木へ

おいでなさいませ